

※このドキュメントは幅を一定の大きさにして閲覧いただくと、読みやすくなります。
※フォントをFixedSysの標準でお読みいただくことを前提としています。

PowerMemoLibrary 1.0.0.01β4 [by. ノウネム]

readme.txt

アンインストール時は本ソフトを一度でも起動していると、かならず
PowerMemoLibrary.exeが有るフォルダとその配下のフォルダが残ります。
これはPowerMemoLibraryがPowerMemoLibrary独自プラグイン起動用にID番号をTempフォルダに
作成している為です。

標準で”PowerMemoLibrary.exeが有るフォルダ”は
 (“C:\Program Files\PowerMemoLibrary”)になります。

#このアプリケーション内での障害(バグ)は” <http://fdsoftware.client.jp/> ”の
バグ報告フォームからご連絡ください。
また、障害の程度によってはサポート出来ませんのでご了承ください。m(;)m

◎使用と配布に関する条件

このプログラムをほぼそのまま使い、作ったアプリケーションをじぶんの名前で配布などetcしないでください。

このソフトウェアがフリーソフトの場合、商用には使用しないでください。
(心配要らないと思いますが・・・(汗)※私の許可を貰っていれば”商用可”とします。

また、転載はとくに事前連絡は必要ありませんが、連絡をしていただけるとありがたいです^^;

それ以外逆コンパイルおよび解析等を行っても一向に構いませんがそれらを行った時点でサポート対象外とさせていただきます。

□圧縮ファイル又は自動解凍アプリケーションについて

※解凍後、その圧縮ファイル又は自動解凍アプリケーションは捨てて構いません。
また、これらのファイルを取っておけばバックアップとして使うこともできます。

- Types!

※バージョン情報の見方

Ver. [大規模バージョンアップ] . [中程度バージョンアップ] . [小規模バージョンアップ] .
[極小規模バージョンアップ (ソフトウェアによっては存在しない)] . 0 [総合バージョンアップ回数]

※”本体容量”の算出方法は1024Byte=1KB、1024KB=1MBとして算出してあります。

また、この容量は圧縮後の容量です。

※一番下の表示について、“(C)”は「コピーライト」、”SRM”は「SystemReadMe」、”RM”は「ReadMe」となります。

また、この数字はバージョン番号となります。

>>このアプリケーションはHSP製です。

URL : <http://www.onionsoft.net/hsp/hsp2dl.html>にてダウンロード可能です。

(*現在ではHSP3.0が最新です。HSP3.0はURL : <http://hsp.tv/make/begin.html> にてダウンロード可能です。)

皆さんもやってみませんか？

>>最初はとても難しいと思いますがその壁を越えられれば後は

「な～んだ。HSPって簡単じゃん。」——と思えるようになりますよ。

≫クリック募金で命を救う手助けを。

URL : <http://www.dff.jp/> : 1クリックで1円の募金。(自分は負債なし)

MEMO LIBRARY v. 4. 6. 3 (最終バージョン)

U R L : <http://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se361108.html>

：興味の有る方どうぞ：（エラー出まくりなので注意。（汗）

(C) FD_SoFTware, 2004-2006, Inc. (SRM:v3.7.4.2.016 RM:v1.0.0.0.01)